

静岡県中遠工業用水道事業の紹介

○事業の主旨及び経緯

昭和40年代前半の高度成長期に、磐田市、袋井市を中心とする中遠地域は東名高速道路、国道1号線及び国道150号の整備等交通網の発達に伴い企業立地が急速に増え、また、市町村において積極的な企業誘致が行なわれた結果、工業化が進み生活用水はもとより工業用水の需要が増大し、一部地域では地下水の塩水化現象が生ずるに至った。

このため、地下水保全及び工業用水の長期安定供給を目的とした本事業を計画し、昭和43年水需要度の高い天竜川左岸地域を対象とした工業用水道の建設に着手、昭和54年から一部給水を開始した。

○天竜川下流用水共有財産管理事業

天竜・東三河特定地域総合開発計画(昭和29年)の一環として、天竜川下流地域左右岸に広がる広大な地域の農業用水、水道用水、工業用水の確保により地域の開発整備を図るもので、国営天竜川下流農業水利事業と静岡県中遠工業用水道事業及び静岡県遠州広域水道事業の用に併せて供される施設の建設事業を共同施工したものである。

この事業により建設された施設は、取水施設・導水路などであり、協定により静岡県企業局が取水量の監視・調整、施設の保守点検及び水路の巡視などの管理事業を行っている。

また、管理を円滑に行うため、県建設部長・県公営企業管理者・関係市長・各土地改良団体の長で構成された天竜川下流用水共有財産管理委員会が設置されている。

○ユーザーの概要

(平成20年3月末現在)

業種	給水件数	契約水量 (m ³ /日)
食料品関連	6	14,270
繊維工業	5	2,950
紙・パルプ	1	100
化学	14	12,940
石油製品		
金属製品	6	1,160
電気・機械	15	15,400
その他	15	6,790
計	62	53,610

○工業用水道施設の概要

中遠工業用水道は天竜川の船明ダムより取水し、農水・工水・上水三者共用で天竜川左岸の導水路にて磐田市寺谷取水場まで導水し、取水場の沈砂池にて沈砂後、ポンプ(両吸込渦巻ポンプ)3台にて工水及び上水を寺谷浄水場の着水井まで圧送している。その後工水・上水別に浄水され、配水管にて給水区域である磐田市、袋井市の各ユーザーまで給水している。計画給水能力は天竜川左岸で120,000(m³/日)で、現在60,000(m³/日)の給水能力を有している。

○事業の特徴

許可水利権が豊水水利権であるため、天竜川の渇水時には上水・工水・農水の各利水者間で水利調整協議会を開催し、節水率の決定を行っている。

○静岡県企業局のホームページアドレス

<http://www.pref.shizuoka.jp/kigvou/>

(給水区域図：次ページに掲載)

中遠工業用水道概要図

